

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2018-42563(P2018-42563A)

【公開日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2017-224810(P2017-224810)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 Q 1/68 (2018.01)

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/68 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

化合物を分析するための方法であって、
マイクロ流体制御下で油中に複数の水性マイクロカプセルを形成させる工程、ここに、各水性マイクロカプセルは遺伝要素および細胞を含む；
前記第 1 の遺伝要素が前記細胞と関連した分子と相互作用するように、前記複数の水性マイクロカプセルをインキュベートする工程；
前記水性マイクロカプセルの 1 つ以上の内部で前記細胞と関連した分子が関与する増幅反応を実施する工程、ここに、前記遺伝要素または前記遺伝要素によりコードされる遺伝子産物が前記増幅反応に影響する；および
前記水性マイクロカプセルの 1 つ以上における増幅反応の産物によって引き起こされる選択可能な変化を検出する工程
を含む、方法。

【請求項 2】

複数の水性マイクロカプセルが、界面活性剤の存在に起因して融合または合体できない、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

選択可能な変化が光学的シグナルを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

遺伝要素が増幅のための 1 つ以上のプライマ配列を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

遺伝要素がビーズに付着されている、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

分子がレポータタンパク質である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

分子が遺伝子を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

遺伝子産物を形成させるために遺伝子を発現させる工程をさらに含む、請求項 7 に記載

の方法。

【請求項 9】

遺伝子産物がタンパク質である、請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

タンパク質が抗体である、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 11】

タンパク質が細胞内に位置する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 12】

タンパク質が細胞外に位置する、請求項 9 に記載の方法。

【請求項 13】

分子が DNA または RNA である、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 14】

遺伝子産物が cDNA である、請求項 8 に記載の方法。